

1. 令和2年度決算の概要

資料2②

1. 概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立に腐心した1年であった。豊岡病院では、臨時外来スペース設置、LAMP法・PCR法による検査の院内完結、入院患者を対象とした入院前検査、救命救急センターへのPCR検査装置の配備等に取り組んだ。また、一つの病棟を新型コロナウイルス患者専用の病棟に転換し、但馬地域内外の新型コロナ患者を受け入れた。他方、手術件数は対前年度85.3%の水準を維持するとともに、約12,000人の救急患者を受け入れるなど、但馬地域の基幹病院としての役割を引き続き果たしてきた。

日高医療センター、出石医療センターでは、入院・外来ともに患者数が減少するなか、地域包括ケア病床を活用し、豊岡病院での急性期治療を終えた入院患者の受入（転院）を積極的に行うなど、地域全体での医療提供体制の維持に取り組んだ。朝来医療センターでは、新型コロナウイルス患者専用の病床を9床整備し、但馬地域内外からの患者を受け入れるとともに、3F西病棟全床を地域包括ケア病床に転換するなど、医療提供体制の充実を図った。

経営面においては、新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立を何とか図ることが出来たこと、国・県からの新型コロナウイルス関連補助金が段階的に手厚く措置されてきたことなどにより、年度当初に懸念していた経営悪化は回避することが出来た。

経常収支は8.6億円の黒字、内部留保資金は14.2億円となった。

2. 収益的収支

(1) 病院別の詳細

① 豊岡病院(経常収支△227百万円⇒+1,102百万円：+1,329百万円)

(税込、単位:百万円)

項目		R01決算	R02決算見込	R02決算	対R01決算		対R02決算見込
業務量	患者数(人/日)	441	393	391	△50	△11.3%	△2
	診療単価(円)	59,430	66,805	66,684	7,254	+12.2%	△121
	入院収益	9,599	9,581	9,528	△71	△0.7%	△53
	患者数(人/日)	965	872	871	△94	△9.7%	△1
	診療単価(円)	17,637	18,745	18,949	1,312	+7.4%	204
外来収益		4,086	3,972	4,009	△77	△1.9%	37
収益的収支	医業収益	14,062	13,879	13,867	△195	△1.4%	△12
	医業費用	16,876	17,533	17,286	410	+2.4%	△247
	医業外収益	2,906	4,809	4,818	1,912	+65.8%	9
	分賦金	2,285	2,467	2,467	182	+8.0%	0
	コロナ補助金	0	1,692	1,696	1,696	皆増	4
	その他	621	650	655	34	+5.5%	5
	医業外費用	319	307	297	△22	△6.9%	△10
	経常収支(A)	△227	848	1,102	1,329	—	254
	特別利益	2	432	432	430	—	0
	特別損失	2	2,186	2,130	2,128	—	△56
特別収支(B)	0	△1,755	△1,698	△1,698	—	57	
純損益(A)+(B)	△227	△907	△596	△369	—	311	

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R01決算)

ア. 経常収支

+1,329百万円

i 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、年間を通じて通常診療とコロナ診療を概ね両立出来たことが大きく影響し、経常収支は改善

患者数は、入院：△50人/日(△11.3%)・外来：△94人/日(△9.7%)ともに減少
 診療単価は、入院：+7,254円(+12.2%)・外来：1,312円(+7.4%)ともに増加
 その結果、入院収益：△71百万円(△0.7%)・外来収益：△77百万円(△1.9%)
 ※新型コロナウイルス感染症入院実患者：98人(延患者数：1,163人)

○手術件数 R01年：4,107件 ⇒ R02年：3,505件 (△602件、△14.7%)
 主な減少科 歯科266件⇒162件(△104件) 精神科244件⇒131件(△113件)
 ○救急患者数 R01年：15,899人 ⇒ R02年：11,992人 (△3,907人、△24.6%)
 ウォークインのみ R01年：9,531人 ⇒ R02年：6,042人 (△3,489人、△36.6%)
 ウォークイン除く R01年：6,368人 ⇒ R02年：5,950人 (△418人、△6.6%)

- ii 超過勤務手当(医師給与調整手当創設)増加等による給与費増 $\Delta 165$ 百万円
- iii 新型コロナ感染防止対応及び手術収入増加に伴う材料費増 $\Delta 205$ 百万円
- iv 光熱水費の減(LED化に伴う電気料減、ガス単価減) $+22$ 百万円
- v 委託料の増(医事・清掃・警備委託+23百万円、読影+15百万円) $\Delta 90$ 百万円
- vi 国の財政措置見直し(特交ルール分増)等に伴う分賦金の増 $+182$ 百万円
- vii 新型コロナウイルス感染症対応として、コロナ患者専用病床を確保するなど、国・県補助金を受入 $+1,696$ 百万円

※主なコロナ関連補助金：

空床確保(1,502百万円)、発熱外来・検査体制確保(37百万円)、
入院医療機関支援(20百万円)、入院受入医療機関緊急支援(95百万円)

イ. 特別収支 $\Delta 1,698$ 百万円

- i 新型コロナ対応従事者慰労金支給に伴う特別利益・特別損失の計上(257百万円)
- ii 特別利益として、病院組合職員互助会からの寄附金受入(160百万円)
- iii 退職給付引当金に係る引当不足額(平成26年度から15年分割で引当中)の特別損失一括計上(1,850百万円)

ウ. 純損益 $\Delta 369$ 百万円

② 日高医療センター(経常収支 $\Delta 33$ 百万円 $\Rightarrow \Delta 27$ 百万円： $+6$ 百万円)

(税込、単位:百万円)

項目		R01決算	R02決算見込	R02決算	対R01決算		対R02決算見込
業務量	患者数(人/日)	30	27	27	$\Delta 3$	$\Delta 10.0\%$	0
	診療単価(円)	48,049	45,674	44,990	$\Delta 3,059$	$\Delta 6.4\%$	$\Delta 684$
	入院収益	532	445	452	$\Delta 80$	$\Delta 15.0\%$	7
	患者数(人/日)	277	270	266	$\Delta 11$	$\Delta 4.0\%$	$\Delta 4$
	診療単価(円)	17,435	17,866	17,974	539	$+3.1\%$	108
	外来収益	1,159	1,171	1,160	1	$+0.1\%$	$\Delta 11$
収益的収支	医業収益	1,759	1,679	1,678	$\Delta 81$	$\Delta 4.6\%$	$\Delta 1$
	医業費用	2,037	1,990	1,968	$\Delta 69$	$\Delta 3.4\%$	$\Delta 22$
	医業外収益	262	274	278	16	$+6.1\%$	4
	分賦金	255	259	259	4	$+1.6\%$	0
	コロナ補助金	0	7	11	11	皆増	4
	その他	7	8	8	1	$+14.3\%$	0
	医業外費用	17	16	16	$\Delta 1$	$\Delta 5.9\%$	0
	経常収支(A)	$\Delta 33$	$\Delta 53$	$\Delta 27$	6	—	26
	特別収支(B)	0	$\Delta 236$	$\Delta 243$	$\Delta 243$	—	$\Delta 7$
	介護収支(C)	$\Delta 6$	$\Delta 10$	$\Delta 11$	$\Delta 5$	—	$\Delta 1$
純損益(A)+(B)+(C)	$\Delta 39$	$\Delta 299$	$\Delta 281$	$\Delta 242$	—	18	

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R01決算)

ア. 経常収支 $+6$ 百万円

- i 入院は、新型コロナウイルス感染症の影響による眼科手術抑制(1,111件 \Rightarrow 943件 $\Delta 168$ 件、 $\Delta 15.1\%$)等により、患者数・収益ともに減少したものの、外来は高単価の硝子体注射増加により、前年度並み。また、材料費減や人員配置見直しによる給与費減、経費節減等により、前年度並みの経常収支。

〔患者数は、入院： $\Delta 3$ 人/日($\Delta 10.0\%$)、外来： $\Delta 11$ 人/日($\Delta 4.0\%$)ともに減少
診療単価は、入院： $\Delta 3,059$ 円($\Delta 6.4\%$)の減少、外来： $+539$ 円($+3.1\%$)は増加
その結果、入院収益： $\Delta 80$ 百万円($\Delta 15.0\%$)、外来収益： $+1$ 百万円($+0.1\%$)〕

- ii 新型コロナウイルス感染対応補助金の受入 $+11$ 百万円

イ. 特別収支 $\Delta 243$ 百万円

- i 新型コロナ対応従事者慰労金支給に伴う特別利益・特別損失の計上(12百万円)
- ii 退職給付引当金の特別損失一括計上(241百万円)

ウ. 介護収支 $\Delta 5$ 百万円

エ. 純損益 $\Delta 242$ 百万円

③ 出石医療センター(経常収支△22百万円⇒△6百万円：+16百万円)

(税込、単位:百万円)

項目		R01決算	R02決算見込	R02決算	対R01決算		対R02決算見込
業務量	患者数(人/日)	30	27	28	△2	△6.7%	1
	診療単価(円)	28,591	29,550	29,300	709	+2.5%	△250
	入院収益	312	290	292	△20	△6.4%	2
	患者数(人/日)	68	60	60	△8	△11.8%	0
	診療単価(円)	8,730	9,497	9,498	768	+8.8%	1
外来収益		142	138	138	△4	△2.8%	0
収益的収支	医業収益	488	459	461	△27	△5.5%	2
	医業費用	733	743	740	7	+1.0%	△3
	医業外収益	237	271	286	49	+20.7%	15
	分賦金	231	253	253	22	+9.5%	0
	コロナ補助金	0	12	27	27	皆増	15
	その他	6	6	6	0	0.0%	0
	医業外費用	14	14	13	△1	△7.1%	△1
	経常収支(A)	△22	△27	△6	16	—	21
	特別収支(B)	0	△118	△116	△116	—	2
	純損益(A)+(B)	△22	△145	△121	△99	—	24

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R01決算)

ア. 経常収支

+16百万円

- i 新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数・収益ともに減少したものの、コロナ関連補助金の受入等により、前年度より若干好転

〔患者数は、入院：△2人/日(△6.7%)・外来：△8人/日(△11.8%)ともに減少
診療単価は、入院：+709円(+2.5%)・外来：+768円(+8.8%)ともに増加
その結果、入院収益：△20百万円(△6.4%)、外来収益：△4百万円(△2.8%)〕

- ii 国の財政措置見直し(特交ルール分増)等に伴う分賦金の増 +22百万円

- iv 新型コロナウイルス感染対応補助金の受入 +27百万円

イ. 特別収支

△116百万円

- i 新型コロナ対応従事者慰労金支給に伴う特別利益・特別損失の計上(6百万円)

- ii 退職給付引当金の特別損失一括計上(116百万円)

ウ. 純損益

△99百万円

④ 朝来医療センター(経常収支△340百万円⇒△210百万円：+130百万円)

(税込、単位:百万円)

項目		R01決算	R02決算見込	R02決算	対R01決算		対R02決算見込
業務量	患者数(人/日)	98	81	82	△16	△16.3%	1
	診療単価(円)	28,408	32,249	32,534	4,126	+14.5%	285
	入院収益	1,017	955	967	△50	△4.9%	12
	患者数(人/日)	252	230	228	△24	△9.5%	△2
	診療単価(円)	7,289	7,240	7,314	25	+0.3%	74
外来収益		441	405	404	△37	△8.4%	△1
収益的収支	医業収益	1,518	1,409	1,420	△98	△6.5%	11
	医業費用	2,168	2,208	2,190	22	+1.0%	△18
	医業外収益	353	547	602	249	+70.5%	55
	分賦金	343	369	369	26	+7.6%	0
	コロナ補助金	0	169	219	219	皆増	50
	その他	10	9	14	4	+40.0%	5
	医業外費用	43	44	42	△1	△2.3%	△2
	経常収支(A)	△340	△296	△210	130	—	86
	特別収支(B)	0	△276	△299	△299	—	△23
	純損益(A)+(B)	△340	△572	△509	△169	—	63

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R01決算)

ア. 経常収支

+130百万円

- i 新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数・収益ともに減少したものの、材料費減や空床確保経費等コロナ関連補助金の受入(219百万円)等の増により、前年度より好転

患者数は、入院：△16人/日(△16.3%)・外来：24人/日(△9.5%)ともに減少
 診療単価は、入院：+4,126円(+14.5%)・外来：+25円(+0.3%)ともに増加
 その結果、入院収益：△50百万円(△4.9%)、外来収益：△37百万円(△8.4%)
 ※新型コロナウイルス感染症入院実患者：37人(延患者数：260人)

- ii 療養病床から地域包括ケア病床への機能アップによる単価増 +3百万円
 iii 超過勤務手当(医師給与調整手当創設)増加等による給与費増 △36百万円
 iv 委託料の増(医事委託+5.5百万円) △9百万円
 v 国の財政措置見直し(特交ルール分増)等に伴う分賦金の増 +26百万円
 vi 新型コロナウイルス感染症対応として、コロナ患者専用病床を確保するなど、国・県補助金を受入 +219百万円

※主なコロナ関連補助金：

空床確保(136百万円)、発熱外来・検査体制確保(12百万円)、
 入院医療機関支援(4百万円)、入院受入医療機関緊急支援(41百万円)

イ. 特別収支

△299百万円

- i 秋葉台医師住宅売却に伴う売却益計上(2.6百万円)
 ii 旧梁瀬MC医師住宅売却に伴う売却損計上(10百万円)
 iii 新型コロナ対応従事者慰労金支給に伴う特別利益・特別損失の計上(24百万円)
 iv 退職給付引当金の特別損失一括計上(291百万円)

ウ. 純損益

△169百万円

(2) 事業合計

(税込、単位：百万円)

区分	R01決算	R02決算見込	R02決算	対R01決算	対R02決算見込	主な病院別増減内訳	対R02決算見込
医業収益	17,827	17,426	17,425	△402	△2.3%		△1
入院収益	11,460	11,271	11,239	△221	△1.9%	豊岡△71, 日高△80, 出石△20, 朝来△50	△32
外来収益	5,828	5,686	5,712	△116	△2.0%	豊岡△77, 出石△4, 朝来△37	26
その他	539	469	474	△65	△12.1%	豊岡△48, 朝来△12	5
医業費用	21,814	22,474	22,184	370	+1.7%		△290
給与費	11,419	11,637	11,589	170	+1.5%	豊岡+165, 日高△41, 朝来+36	△48
材料費	5,368	5,731	5,557	189	+3.5%	豊岡+205, 日高△13	△174
経費	2,910	3,032	2,965	55	+1.9%	豊岡+63, 日高△13	△67
減価償却費	1,907	1,907	1,907	0	0.0%	豊岡+11, 朝来△14	0
その他	210	167	167	△43	△20.5%	豊岡△34	0
医業外収益	3,758	5,901	5,985	2,227	+59.3%	豊岡+1,912, 出石+49, 朝来+249	84
分賦金	3,114	3,348	3,348	234	+7.5%	豊岡+182, 出石+22, 朝来+26	0
コロナ補助金	0	1,880	1,953	1,953	皆増		73
その他	644	673	684	40	+6.2%		11
医業外費用	393	381	367	△26	△6.6%		△14
経常収支(A)	△622	472	859	1,481	—	豊岡+1,329, 日高+6, 出石+16, 朝来+130	387
特別収支(B)	0	△2,385	△2,355	△2,355	—	豊岡△1,698, 日高△243, 出石△116, 朝来△299	30
介護収支(C)	△6	△10	△11	△5	—	日高△5	△1
純損益(A)+(B)+(C)	△628	△1,923	△1,507	△879	—	豊岡△369, 日高△242, 出石△99, 朝来△169	416

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

3. 資本的収支

(税込、単位:百万円)

	R01決算	R02決算	増減	主要内容
資本的収入(A)	2,313	2,368	55	-
企業債	774	427	△ 347	建設改良事業の整備財源
負担金	1,455	1,587	132	条例に基づく構成市負担金
他会計長期借入金	30	0	△ 30	医師修学資金貸付金に係る財源
補助金	43	321	278	救急・精神等に対する国県補助金
投資回収金	11	9	△ 2	修学資金貸付金の返済
固定資産売却代金	0	18	18	固定資産売却に伴う収入
寄附金	0	6	6	器械備品購入に係る寄附金
資本的支出(B)	3,001	3,048	47	-
建設改良費	838	737	△ 101	施設及び医療器械整備費
償還金	2,069	2,246	177	借入済企業債の返済
その他	94	65	△ 29	修学資金等の貸付金
差引(A)-(B)	△ 688	△ 680	8	-

※計数については、端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

(対R01決算)

(1) 資本的支出(3,001百万円⇒3,048百万円)	+47百万円
① 建設改良費(838百万円⇒737百万円)	△101百万円
ア. 財産購入費	10百万円
i 豊岡病院駐車場用地取得費等	10百万円
イ. 建設改良費	727百万円
i 主な施設整備事業	235百万円
豊岡病院	
吸収式冷温水機更新工事	104百万円
本館病棟廊下感染症予防対策改良工事	39百万円
駐車場増設整備事業実施設計	29百万円
ii 主な医療器械整備事業	492百万円
豊岡病院	
パルス式キセノン紫外線照射装置	20百万円
人工呼吸器(8台)	47百万円
日高医療センター	
共焦点走査型ダイオードレーザ検眼鏡	25百万円
出石医療センター	
免疫発光測定装置	8百万円
② 償還金(2,069百万円⇒2,246百万円)	+177百万円
(2) 資本的収入(2,313百万円⇒2,368百万円)	+55百万円
① 企業債(774百万円⇒427百万円)	△347百万円
② 負担金(1,455百万円⇒1,587百万円)	+132百万円
③ 補助金(43百万円⇒321百万円)	+278百万円
新型コロナウイルス感染症に係る補助金(275百万円)の増	
(3) 収支不足額	
収支不足額680百万円は当年度損益勘定留保資金で補てんした。	

4. 年度末内部留保資金

(1) 令和2年度末内部留保資金の状況

(単位:百万円)

	R01決算	R02決算	増減
①前年度末内部留保資金	154	△ 246	△ 400
②当該年度変動額	△ 400	1,674	2,074
ア. 収益的収支による増減	288	2,354	2,066
(1) 純損益	△ 628	△ 1,507	△ 879
(2) 資金変動を伴わない収益・費用	916	3,861	2,945
イ. 資本的収支による増減	△ 688	△ 680	8
③当該年度末内部留保資金	△ 246	1,428	1,674

内部留保資金は前年度から1,674百万円増加して年度末残高1,428百万円となり、資金不足から脱した。

(主な増加要素)

- ・ 特別減収対策企業債の発行(600百万円発行、20百万円償還済)
- ・ 職員互助会からの寄附(160百万円)
- ・ 経常収益の改善等(934百万円)